

## 要請番号 (JL05424A13)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
インド	G130 柔道	20～45歳のみ	個別	交替 2代目	2年	・2024/3 ・2025/1 ・ 2025/2

### 【配属機関概要】

#### 1) 受入省庁名（日本語）

社会正義エンパワメント省

#### 2) 配属機関名（日本語）

インド視覚障害者パラ柔道協会  
NGO

#### 3) 任地（ウツタル・プラデシュ州ラクナウ） JICA事務所の所在地（デリー準州デリー）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（飛行機+車で約3.0時間）

#### 4) 配属機関の規模・事業内容

配属先は「スポーツと社会における平等」をモットーに2010年に設立された。柔道を通じた青少年健全育成や、社会における障害者への理解の促進を目的として、パラ柔道の普及促進に取り組んでいるほか、パラ柔道のインド代表選手の選考、強化も行っている。これまでに数回、国際大会へも出場し、2022年の国際大会では初めてメダルを獲得するなど、成績は年々向上している。2022年には道場と宿舎を備えた柔道アカデミーを建設し、視聴覚障害者柔道の更なる強化のみならず、地域における柔道の普及を促進している。これまで2名の隊員が派遣された実績がある。

### 【要請概要】

#### 1) 要請理由・背景

インドにおける障害者柔道は、歴史は浅いが、障害者の社会的地位の向上や社会参画のきっかけとなっている。他方、予算不足等の原因から、十分な知見を持つ柔道指導者の確保が困難であり、結果として次世代の指導者育成も進んでいない状況である。このような状況下、インドにおける障害者柔道の普及、競技レベルの向上、次世代指導者の育成が期待されて隊員が要請された。

#### 2) 予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

- 新設された柔道アカデミーにおいて青少年選手（視覚・聴覚障害者含む）に対して指導を行う。（月～土朝夕それぞれ2～3時間程度）
- パラ柔道のインド代表選手の強化合宿において、選手の指導を行う。
- 柔道の礼儀作法の指導を通じて、社会参画や自立を促進する。
- 配属先の指示のもと、市外・州外の他の道場や学校等への出張指導を行う。

#### 3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

柔道場、筋力トレーニング器具

#### 4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚：  
男性2名（40歳代・講道館2段・指導経験20年、40歳代・指導歴10年）

活動対象者：  
3～22歳の男女、約30名（視覚・聴覚障害者含む）

5) 活動使用言語

ヒンディー語

6) 生活使用言語

ヒンディー語

7) 選考指定言語

英語(レベル:C)

**【資格条件等】**

[免許]: (柔道三段)

[学歴]: (大卒) 備考: 配属先の要望

[性別]: (男性) 備考: 配属先の要望

[経験]: (競技経験)5年以上 備考: 配属先の要望

任地での乗物利用の必要性

不要

**【地域概況】**

[気候]: (温暖湿潤気候) 気温: (8~40℃位)

[電気]: (安定)

[通信]: (インターネット可 電話可)

[水道]: (安定)

**【特記事項】**